

## アカデミー研修委員会運営方針

アカデミー研修委員会副理事長 大和田 典義

本年度日立青年会議所では、10名を超える新たな仲間を迎え、より一層の力を持って青年会議所運動を邁進することができます。しかし、仲間が増えると同時に入会間もないアカデミー会員の育成が全国的な課題となっています。卒業制度のもと、ベテランといわれるJAYCEEは地域の人財として輩出され活躍する一方、青年会議所の会員は常に入れ替わり、まだ入会間もないアカデミー会員が半数を超える青年会議所も珍しくありません。より質の高い青年会議所運動を行うため、そして地域で活躍する人財を常に輩出し続けるためには、アカデミー会員の育成が急務であり、その会員が青年会議所運動を通して自己研鑽を重ね、地域の未来を創る人財として成長する必要があります。

まずは、新入会員の皆様に青年会議所の基礎となるルールを学んでいただき、共に日立の未来を創っていく積極的且つ能動的な行動を起こせる力強いJAYCEEとしての一歩を踏み出していただきます。

青年会議所運動には様々な「気づき」や「学び」の機会が用意されています。主体的に活動すればその機会は何倍にも増し、自然と成長していくように構築された組織となっています。青年会議所運動を邁進する中で、様々な経験をし、様々な人と出会い、多様な価値観に触れることで人は磨かれ、成長するのです。一年間共に活動する仲間と価値観をぶつけ合い、熱く語り、苦楽を共にしながら絆を深めていただけるよう運営してまいります。

そして、青年会議所で得ることのできる出会いの連鎖は、日立のみにとどまらず、茨城県、日本、そして世界へと繋がっています。無限の出会いが待っている出向の機会を積極的に活用できるよう支援し、青年会議所が持つスケールメリットを感じていただきます。

また、地域経済人としての成長は我々青年経済人の使命であり、その成長無くして地域の成長はありません。今、我々青年経済人が学ぶべきことを広い視点から見つめ直し、研修事業を構築していきます。

さらに、日立青年会議所が一体感を持って運動を邁進するために、各副理事長と委員会間を越えた活発な行動を起こし、共に役員会と委員会の意思疎通を図ることで、より強固な組織運営を行っていきます。

日立青年会議所が紡いできた51年間の歴史と伝統、そして青年会議所運動の本質をしつかりと継承しながらも、新入会員のフレッシュな価値観を吸収することで、既存の組織を見つめなおし、双方がシナジーを起こし、日立青年会議所の更なる飛躍へと繋がります。